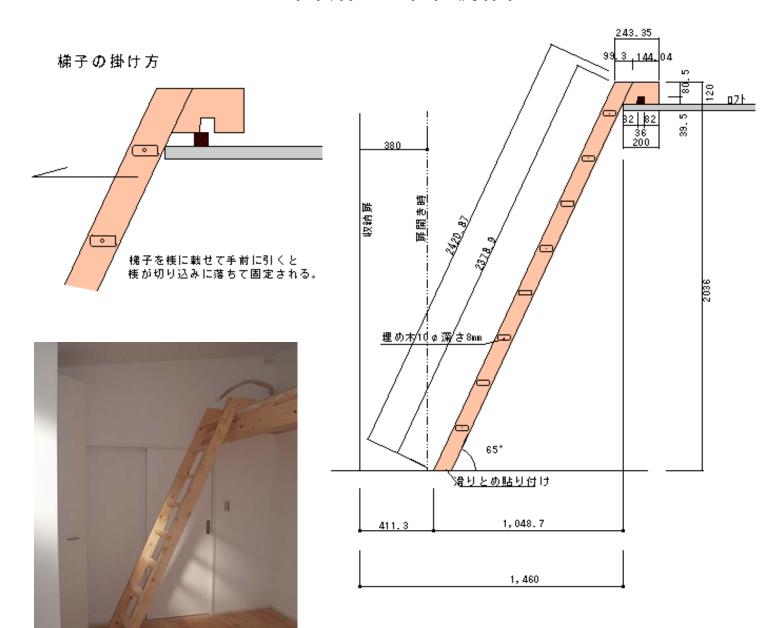
軽く移動出来る木製ロフト用梯子の製作について

今まで木製ロフト梯子をその都度、現場に合わせた角度、幅、長さ、固定方法等を変えて製作してきました。今回は、梯子を状況に応じて横方向への移動が必要となります。

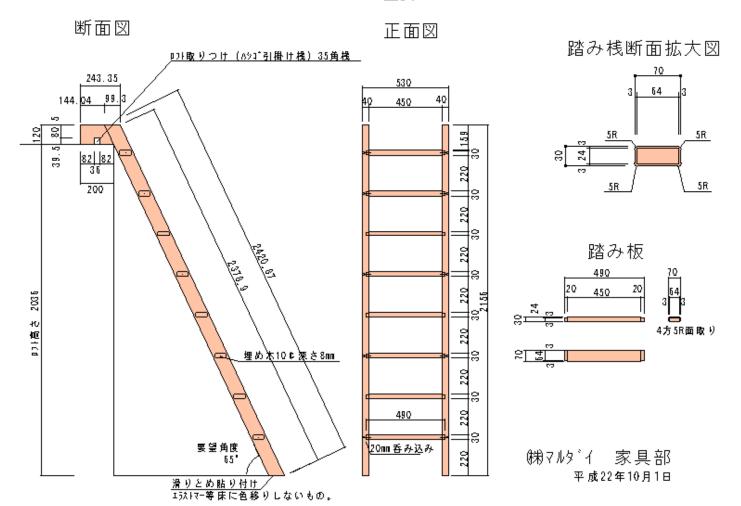
材質は今まで通りの軽いホワイトウッドを使用して、ロフトの床面に梯子の固定用桟木を取り付けて、その桟木上を梯子が移動するものです。また、移動する際は必ず、一度、梯子をはずしてから希望位置に立てかけ、少しずつ手前に動かせば梯子の切り欠きが桟木に落ち込み固定される単純なものです。女性一人でも何とか移動出来るものと思います。

ロフト木製梯子の位置関係図

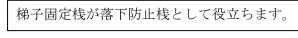


開き扉に干渉しない位置でセットしました。

仕様*ロフト用 木 製 梯 子***仕様****材質: ホワィトウッド
塗装: リボス クリヤー



今回は梯子幅を多少広くして欲しいとの希望で全幅 530 となり、踏み板は 70*t30 は従来と同じサイズとしました。梯子に多少のゆったり感が出て、軽くて、手触りも良く使い込んで頂けそうです。









ロフト部の梯子上部取り付け状況。 この桟は登り降りの掴み手にもなってい ます。



梯子はゆったり幅で踏み板奥行き 70mm。 また、梯子を左右に動かし固定できます。

以上、要望に応じて、木製梯子を製作しておりますが、施工例では取り付け角度 64°65°位が多いようです。これからも安全にインテリアの一環としても十分に使える木製梯子を提案していきたいと思います。

(㈱マルダイ 家具部 Da·Monde 鈴木 平成 22 年 10 月 25 日